

(仮) Team SUGE 地ケア プロジェクト

第1回会議 まとめ

第1回：菅地区の地域課題を見つめる

日 時：令和4（2022）年 7月29日（金）13：30～16：30

9月7日（水）9：00～12：00（*）

*7月29日を欠席された方々を対象に、同じプログラムを開催しました

会 場：多摩区役所

プログラム：

第1部：インプット（45分）

- ・オリエンテーション
- ・統計データから、菅地区の特性を見つめよう
- ・現場の実感・現状を知ろう

第2部：グループワーク（105分）

- ・グループワーク① 地域データについて気付きや感想を共有しよう
- ・グループワーク② 菅地区の課題を考えよう

第3部：まとめ（30分）

- ・全体共有・まとめ
- ・今後の進め方





▲参加者のみなさま（7/29開催）



▲参加者のみなさま（9/7開催）

全体のまとめ | 菅地区の課題を整理しよう

大テーマ	小テーマ	くぐりの言葉（ご意見のポイント）
地域の交流・多世代交流の減少	コロナ禍による交流の減少	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナによる、地域や多世代の対面の交流が減少している（◎2） ●コロナで高齢者が集まる機会を2年ぐらい実施できない（◎1、○2） ●コロナ禍で地域の交流や多世代交流が減っている（◎1、○1） ●コロナで交流や連携がとれない（再開が難しい）
	地域の人・隣人を知らない、孤立している	<ul style="list-style-type: none"> ●顔が見える関係って大事！いざという時の窓口がわからない（◎2、○1） ●交流関係が狭く孤独を感じる（○1） ●配偶者が亡くなり、1人で寂しい。1人で生活していけるかが心配（○1） ●隣の人の顔が見えなくて、ご近所トラブルが増加している
	地域への感心が低い、実践につながらない	<ul style="list-style-type: none"> ●あいさつなど子どもが声をかけても返事がない（○1） ●町内会への関心が低い ●地域への関心が高いが、実践につながらない
	高齢者と子どもの交流	<ul style="list-style-type: none"> ●公園で高齢者と子どもの世代間のつながりづくりをしたい（◎1、○1） ●保育園と地域の方との資源・つながりで食育ができそう！食育でつながり（○3） ●高齢者が参加するきっかけとして子どもと楽しめるイベントを企画したい
活躍できる場、働く場がない	活躍する場・やりがいのある活動がない	<ul style="list-style-type: none"> ●働く場・活躍できる場がほしい（◎2） ●高齢者などの当事者がもっと主体的に活動できる“しかけ”づくりが必要（○1）
	活動の継続・担い手の確保が困難	<ul style="list-style-type: none"> ●民生委員の担い手が少ない ●少子高齢化で子ども会などの活動が減っている ●高齢者施設の職員の離職が増して、人材の確保が難しい ●収入が少ない ●コロナで支援者のモチベーションが低下している

大テーマ	小テーマ	くぐりの言葉（ご意見のポイント）
安全・安心なまちへの不安	災害時に不安	<ul style="list-style-type: none"> ●新しい住民の近所付き合いや助け合いが少ないので、災害時に心配（◎2、○1） ●認知症のある高齢者などは、とくに地域でのつながりが薄く孤立。災害時どうしたらいいかとっても不安（◎2） ●災害時の避難に不安がある（◎1、○2） ●水害の時、車椅子の方や高齢者は1人で避難や長距離移動ができない（◎1） ●災害時に避難場所に避難できるかが不安（○3）
	高齢者の健康・暮らしの豊かさへの不安	<ul style="list-style-type: none"> ●趣味の選択肢が少ないため、知識や技術を教えてほしい（○1） ●認知症の方などは心理的に怖くて1人で買い物や病院に行けない ●南側：高齢者のみ世帯は健康面が心配
	子育ての不安・負担	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍で育児の負担が増え、子育て世代の孤立が進んでいる（◎1） ●子育て支援事業に人が集まらない。菅地区だけなぜ??（他地区は集まるのに）（○1） ●小さな子どもが家族と過ごせる空間などで、子育て支援がしたい
	地理的・移動に関する不安	<ul style="list-style-type: none"> ●道路・歩道が狭くて子ども・子連れ・高齢者などの交通弱者は危険が多い（◎3） ●元気な住民が出かけやすい環境づくりが大事（◎2、○2） ●地理的問題ででかけにくい（○4） ●南側：駅まで遠くてアクセスが悪いため、物理的に買い物が大変（○4） ●駅までの交通手段がない（○2） ●交通の便が良くない、バスも少ない（○2） ●自転車の交通ルールを守らない、マナーが悪い人が多い（○2） ●細い道が多く、迷いやすい ●公共施設が坂の上であり、行くのが大変
	必要な支援を受けられていない	<ul style="list-style-type: none"> ●相談はどこへ?必要としている人が相談を受けていないか、相談サービスが知られていない（○2） ●サービスが必要なのに受けたいと思ってもらえない

1 グループ

[7/29 開催]

メンバー：土肥さん（地域包括支援センター菅の里）、清水さん（菅第一地区民生委員児童委員協議会）、岩本さん（小規模多機能型居宅介護 花織たま北）、浅井さん（よみうりランド花ハウス地域包括支援センター）、曾我（ファシリテーター）、寺澤（記録役）



グループワーク① 地域データについて気付きや感想の共有

人口

- ・【菅馬場1丁目】人口が一番多いことが意外でした
- ・見ていたものと数値の差に驚き
- ・菅は4小学校、1中学校、1高校まで多くなった。通勤圏のため昔は通勤族が多い
- ・昔は小学校1校11クラス。小・中・高校ができ、まちがどんどん発展
- ・高齢者世帯の増加と関連
- ・北の平地には生産年齢が多く、南に高齢者が多い
- ・人口は増えているが、一人暮らしが多い
- ・古くなったアパートに生活困窮者
- ・アパートの建て替えにより住民層が一変
- ・アパートが多く、通勤族が多い。地域と交流しない

地形・災害

- ・平地は便利だが水害の心配もあり
- ・【菅稲田堤3丁目周辺】水害が多いのに人口が増えている

- ・三沢川を挟み、全然違う

アクセス・交通・移動

- ・マナーが良いドライバーが多い

農地・開発

- ・コンパクトシティみたい
- ・【菅仙谷1】空き地にどんどん一戸建て

その他

- ・南側の狭い地域に遊園地やスポーツセンターまであり充実しているが北側の住民は少ないのでは。

グループワーク② 菅地区の課題を整理しよう

凡例 ●ご意見のポイント ・ご意見 (◎、○) シール投票数 ▷投票理由 ■行きたいところ

●元気な住民が出かけやすい環境づくりが大事 (◎2、○2)

- ・高齢者が町の中を歩くとき、座れるところがないため、ベンチがほしい。(人の家の庭先に腰掛けたりしている。)
- ・菅6丁目、菅馬場などは、道に座れる場所がない
- ・高齢者の集まる場所、立ち寄れる場所が少ない(孤立)
- ・ミラーが少ないため、細い脇道から自動車や自転車が飛び出してくる。
- ・高齢者の方々が家から歩いて行けるとところにセンターがほしい。(菅は広いので場所によって歩いて行けないところがある。)
- ・コミュニティーバス

■三沢川：ベンチがない

■菅6丁目：ベンチをおける場所探し、街並み探検

■菅馬場1や稲田堤駅：街並み探検

■活発にでかける機会が大事

●高齢者などの当事者がもっと主体的に活動できる“しかけ”づくりが必要 (○1)

- ・高齢者の方々がやりがいをもって取り組める活動がほしい(活躍したい)
- ・高齢者が主体的に活動しづらい。いつもお客様側。

■出かけやすくなったらより元気が上がって活発に

●顔が見える関係って大事！いざという時の窓口がわからない (◎2、○1)

- ・車椅子生活の一人住まい老人が、雨が降ると心配になりTELくれる。防災連携が必要
- ・手助けが必要な人を手助けする具体的な方法に困ってしまう。
- ・いざというときに具体的な手段に不安あり

- ・高齢者一人住まい障害者の担当地域毎のマップを3年に1度作成しているが、この事で自分の担当地域が分かる。
- ・隣同士で自分の担当がはっきりと分かる。
- ・困った時に気軽に助けを求められる場所が分からない（外から見えない）
- ・川沿いには気軽に立ち寄れるコンビニなどの場所が少ない
- ・個人情報保護が支援の邪魔になることも?!

■何より顔が見える関係が大切

■水害を経験し、何より命を守ることの大切さを実感

●地理的問題ででかけにくい（〇4）

- ・【北側】踏切を車椅子を押して渡るのが怖い
- ・【北側】外出の時に踏切の向こう側に行かないといけなくて危険
- ・【南側】坂が多くて歩けない
- ・【南側】足腰が弱っている人がでかけにくい
- ・【南側】ゴミ集積所まで行けない
- ・【南側】坂が怖くて出かけにくい

●コロナで支援者のモチベーションが低下している

- ・コロナ禍で民生委員活動もほとんどできなくなり、元の活動に戻すのが大変
- ・民生委員として年ごとに地域研修ということで、福祉関係をみて回っていたが、この3年でできていない
- ・研修ができず、モチベーションが低下する

●隣の人の顔が見えなくて、ご近所トラブルが増加している

- ・隣の人分からない
- ・近所の人ルールを守らない

■行ってみたいところ（その他）

■菅町会作成の菅ガイドブックも参考に公園巡り（新しい発見がある！）

2グループ

[7/29 開催]

メンバー：添野さん（ヒューマンライフケア株式会社）、小池さん（菅第二地区民生委員児童委員協議会）、山越さん（地域包括支援センター菅の里）、大澤さん（菅地区社会福祉協議会）、北村（ファシリテーター）、吉川（記録役）



グループワーク① 地域データについて気付きや感想の共有

人口

- ・高齢者がとても多く、認定者数の数に驚いた。
- ・実感としても増えている
- ・南には困っている高齢者がまだもっといる可能性がある
- ・南側に高齢者人口が多い。駅に近い地域に生産年齢の方が多い
- ・昔は南側が生産人口だった
- ・高齢者の相談が増加している
- ・南部（高台エリア）の高齢化が進んでいる。（肌感と一緒）
- ・【南部】分譲集合住宅は高齢者が多いが、あまり相談にこない。相談が入るともう悪い状態になっている。事前のアプローチが必要
- ・【山側】昔から菅に住んでいる人。つながりが強い
- ・【北部】生産人口、子育て世代が多い

地形・災害

- ・災害について南側地域は大雨による災害が発生しやすく、北側の地域は水害に夜災害が発

- 生しやすい地域であることが判明
- ・防災に力を入れる必要がある→町会は協力的

農地・開発

- ・農地が宅地に変換されている

グループワーク② 菅地区の課題を整理しよう

凡例 ●ご意見のポイント ・ご意見 (◎、○) シール投票数 ▷投票理由 ■行きたいところ

●配偶者が亡くなり、1人で寂しい。1人で生活していけるかが心配 (○1)

- ・配偶者が亡くなり1人で寂しい
- ・女性からよく聞くが男性はあまり言わないだけかもしれない
- ・今後1人で生活していけるかどうか心配
- ・デイサービスがコロナで実施できていない
- ・ゴミの出し方が分からないなど、日頃の生活の中で不安
- ・夜間帯1人で不安
- ・認知症の方が夜間1人だと不安。1人で施設に行こうとしてしまい転倒

▷高齢者の人の楽しい機会づくりをしたい！

▷あそこに行けば○○さんに会える！

■日頃から繋がれる機会があると良い

●コロナで高齢者が集まる機会を2年ぐらい実施できない (◎1、○2)

- ・ミニデイケアを実施できず、集まる会がない
- ・対面で行わず、書面やお手紙でコロナ禍は対応した
- ・コロナ禍で外出機会や交流の機会が減少してしまった。
- ・筋力が落ちる→認知症に→相談がくる

▷できない→コロナ禍でもできることを考えたい！

■はぐるま共同作業所 (集まれるスペースの参考として、どのような場所か見てみたい)

●サービスが必要なのに受けたいと思ってもらえない

- ・衰えてきたが介護サービスはまだ利用したくない (本当は必要)
- ・相談は本人からではなく、まわりから聞く (大家、不動産)
- ・これまでの暮らし方と違うので必要と思ってもらえない

●新しい住民の近所付き合いや助け合いが少ないので、災害時に心配 (◎2、○1)

- ・地域での助け合いの場があまりない。近所付き合いが苦手。災害の時に心配。
- ・まち・住民の変化：

「旧菅住民」北側／川に近いエリアや南側にもポツポツと住んでいた
「新住民（30～40年前）」1960～80年代に山側にたくさん移り住んできた住民
「新住民（近年）」若い世代（古いアパートから戸建てに）

▷防災はみんなで取り組めること。全体で考えるべきこと

▷助け合いを気軽に育むテーマとして防災は考えやすい

●水害の時、車椅子の方や高齢者は1人で避難や長距離移動ができない（◎1）

- ・水害の時に1人では避難できない
- ・1人で避難できない（北側）
- ・包括として何ができるか？申請も1人でできない人がいる。

▷助け合える地域づくりを考えたい

▷助け合い×防災

■ヒューマンライフの防災訓練（2月、8月）

普段は施設関係者のみで実施しているが、地域の人にも来てほしい

●南側：駅まで遠くてアクセスが悪いため、物理的に買い物が大変（○4）

- ・駅までが遠い、坂が多いので買い物などが大変。駅前にタクシー乗り場がない。
- ・南側は坂が多く、買い物が大変。バスの本数が少ない。
- ・行政の出張所も駅の近く。コミュニティーバスの検討もしているが足並みが揃わない。

●認知症の方などは心理的に怖くて1人で買い物や病院に行けない

- ・買い物に行きたいけど1人で行けない
- ・道に迷ってしまう
- ・帰ってこられない
- ・1人だと怖い
- ・病院に1人で行けない
- ・バス・電車に乗らないと行けないため、心理的にも不安

■行ってみたいところ（その他）

■福祉の集い（11/26 菅小学校体育館）

■移動パン屋（ヒューマンライフケアの施設の外の駐車場）：横浜市鴨居から週1回火曜日にきている。今は利用者や職員のみが利用しているが、地域の人にも使ってもらえると良いのでは

3 グループ

[7/29 開催]

メンバー：和田さん（菅こども文化センター）、石橋さん（菅地区社会福祉協議会）、金田さん（はぐるま共同作業所）、大友さん（菅第二地区民生委員児童委員協議会）、鈴木（ファシリテーター）、林（記録役）



グループワーク① 地域データについて気付きや感想の共有

農地・開発

- ・開発が進められてきたまち
- ・【菅北浦】戸建て・集合住宅が多い。農地→宅地に。
- ・農地の開発がまだ進みそう。
- ・農地は後継者不足が課題

人口

- ・南部→人口増
- ・南部（高台）が暮らしにくい。高齢化
- ・思った以上に南部は高齢化している
- ・年少人口の割合を示した地図からも分かるが、やはり菅北浦3丁目は子供が多そう
→新しい家が建ったことが要因か。

地形・災害

- ・改めて山が多い“田舎”。多摩川、三沢川が近く水害リスク、土砂災害リスクが高い。

- ・台風 19 号→西菅小が満杯に。避難所も断られ…。多摩スポーツセンターを開放できないか？
- ・【低地】水害が多い
- ・【高地】坂が多くて自転車や車椅子の移動が大変。バスも少ない。

その他

- ・ゆりストア閉店→クリエイト（ドラッグストア）
- ・南部は買い物が難しい→生協を使っている人が多い。
- ・（はぐるま）梨の枝を染め物に使っている。

グループワーク② 菅地区の課題を整理しよう

凡例 ●ご意見のポイント ・ご意見 (◎、○) シール投票数 ▷投票理由 ■行きたいところ

●災害時の避難に不安がある (◎1、○2)

- ・災害時の避難に不安がある（歩けない人）
- ・特に車椅子の方、高齢者
- ▷学校などと協力してできることがあるかもしれない
- ▷命に関わることなので取り組みたい

●駅までの交通手段がない (○2)

- ・駅までの交通手段がない（仙谷）
- ・坂が多いので自転車で移動が大変

●細い道が多く、迷いやすい

- ・細い道が多くて迷ってしまう

●コロナ禍で地域の交流や多世代交流が減っている (◎1、○1)

- ・コロナ禍で会食など高齢者対象のイベントが全て中止に→つながりが減少→楽しみがなくなる
- ・多世代の交流がもっと活発になってほしい
- ▷コロナ禍でも工夫をしながら取り組みたい
- ▷菅第二民協のあいさつ運動とのマッチングの可能性はある

■PTAの活動：子ども関連で、多世代交流のために

●交流関係が狭く孤独を感じる (○1)

- ・孤独
- ・交友関係や生活範囲が狭い

●あいさつなど子どもが声をかけても返事がない（○1）

- ・町の中で特に、子どもが声をかけても返事が返ってこない
- ▷菅第二民協であいさつ運動を行なっている→防犯

●趣味の選択肢が少ないため、知識や技術を教えてほしい（○1）

- ・趣味の選択肢がない
- ・知識や技術を教えてほしい

●働く場・活躍できる場がほしい（◎2）

- ・働く場・活躍できる場
- ▷有償ボランティアなど

●収入が少ない

- ・収入が少ない

●民生委員の担い手が少ない

- ・民生委員の成り手が少ない

●南側：高齢者のみ世帯は健康面が心配

- ・高齢者夫婦2人暮らしなので健康面で不安がある。

●その他

- ・菅こども文化センター×包括。こ文で育てたひまわりの種を共有した。

■行ってみたいところ（その他）

- 菅は歴史が多いので、歴史を知ることによって愛着につながると思う。
- 小沢城跡
- 薬師堂（獅子舞）
- お魚ポスト（今はもうない）
- のらぼう菜見学（春のみ）
- 菅カフェ（いこいの家）
- 老人会の活動（長生会）：高齢者の声を聞く
- はぐるま共同作業所

4グループ

[7/29 開催]

メンバー：真壁さん（ままとんきっず）、櫻枝さん（多摩区社会福祉協議会）、河中さん（菅第二地区民生委員児童委員協議会）、林（ファシリテーター）、高橋（記録役）



グループワーク① 地域データについて気付きや感想の共有

人口

- ・北部の方が住みやすい？人口増加、生産人口の割合の多さ
- ・人口は増加しているが高齢化している
- ・南部の開発に伴って人口が集まっているが、まとまって増えた人口が一気に高齢化して今後の様々な課題が出てくるように思えた。馬場4の大学の隣であることが理由なのか馬場3は学生が多いようにも感じる。
- ・馬場3丁目学生が多い？寮、アパート多い？
- ・ふじのき台団地（5階建、エレベーターなし）高齢化を実感
- ・南菅、西菅小：1～2クラス→子ども人口は減少
- ・【小学校が開校した順番】東菅小→南菅→西菅

農地・開発

- ・田畑が住宅地になっているので、街としては整備が遅れている
- ・【馬場3丁目】空き家が増えている。足腰が悪くなり便利な集合住宅へ。

アクセス・交通・移動

- ・道路の根上がり、ポコポコしている

- ・歩道がない。あっても狭い
- ・車道幅に対して車のスピードが速い
- ・歩道があるが狭い。車1台すれ違いできない。
- ・道路整備良くない、ポコポコしている
- ・通学時間帯が心配
- ・女子大通りは車道もポコポコしている
- ・女子大通、東菅小あたり：歩道1～2m
- ・【菅こども文化センター付近】歩道狭い（子どもが通る）
- ・【東菅小付近の道路】30km制限の表示が入口のみ。守られていない。危険（子どもが通る）
- ・高台への交通便は20～30分に1本でどんどん減る。

公園

- ・【菅馬場地区】公園がほとんどない
- ・【菅馬場2丁目】公園なし
- ・【菅馬場2丁目】公園ない（1・3丁目はある）

グループワーク② 菅地区の課題を整理しよう

凡例 ●ご意見のポイント ・ご意見 (◎、○) シール投票数 ▷投票理由 ■行きたいところ

●道路・歩道が狭くて子ども・子連れ・高齢者などの交通弱者は危険が多い (◎3)

- ・道路（歩道）が狭い
- ・小学生の登下校に危険が多い
- ・子ども連れでの移動に気を使う
- ・ベビーカー、カート利用の高齢者、車椅子の方
- ・高齢者が歩きにくい（外出しにくい）
- ・カートを押しづらい
- ・道路の切り込みがある
- ・買い物→配達利用
- ・点字ブロックが交差点になく危険→設置できる幅にして

▷命に関わるため（大人、子ども、障害がある方）：歩道の整備などできることをしてほしい！（幅を広げるのは無理だけど）

■見学先から見学先の移動の時に危険な道路を通る

■道ごとにツアー（点検兼ねて）

■危険性のある道路

■歩道があっても狭いところ

●自転車の交通ルールを守らない、マナーが悪い人が多い (○2)

- ・自転車に関する法律を知らない人が多すぎる
- ・【山の方】アシスト自転車を使っている方が多い
- ・【駅周辺】マナーが悪い方が多い
- ・川崎→自転車事故率がダントツ高い (子ども乗せ死亡事故)
- ・小学生の交通教室：1年→歩き方、3年→自転車

▷安全に外出しやすい環境づくり

●交通の便が良くない、バスも少ない (○2)

- ・菅仙谷や菅馬場3丁目などに居住する高齢者の足となるコミュニティーバスのような乗り物があれば
- ・稲城はコミュニティーバスが多い
- ・交通の便が十分とは言えないので、バスの定期を買うためにも長く時間がかかる。(発売時間を間違えて来てしまうと) また長い時間をかけて戻ることになる
- ・フリーパスのIC化→混乱するのでは？問い合わせが多い
- ・菅から区役所へのバス：40分に1本
- ・電車も駅にいかなければならない

●相談はどこへ？必要としている人が相談を受けていないか、相談サービスが知られていない (○2)

- ・地域性なのか生活相談の件数が他よりかなり少ない。社協に相談するよりも皆、区役所に行くのか。近所、家族間で解決しているのか？
- ・【社協】福祉の寄合どころ。相談少ない
- ・「民生委員児童委員」が地域の人たちに周知されていない

▷「どこに相談したら良いのか」→周知が必要

●少子高齢化で子ども会などの活動が減っている

- ・高齢者が多くなる (子ども数が減っている)
- ・子ども会などの活動が少なくなっている
- ・支援センターの利用者が減っている

●町内会への関心が低い

- ・町会に対する関心が低い
- ・町会だより→町会に入っている人のみ
- ・町会加入率減少。

●公共施設が坂の上であり、行くのが大変

- ・南菅いこいの家など坂がきつかったり、立地上行くことが近隣でないと大変な施設がある。利便性の良い町会の会館でのイベントを希望されることもある。

■行ってみたいところ（その他）

- 生田スタジオ：中はどうなっているのか気になる！
- いこいの家の講座：見に来て！
- 民協会食会（コロナによる）
- はぐるま共同作業所：本日カフェがオープン。楽しみにしていた。

1 グループ

[9/7 開催]

メンバー：川上さん（南菅こども文化センター）、山浦さん（社会福祉法人読売光と愛の事業団）、江口さん（菅保育園）、鈴木（ファシリテーター）、石曽根・林（記録役）



グループワーク① 地域データについて気付きや感想の共有

人口

- ・子ども・高齢者人口がともに高い「菅馬場3丁目」。ここでできることは？
 まずは、子ども・高齢者をつなぐプログラム。
 ⇒世代間交流を活発に行っていきたい
 ex) こども文化センターのプログラムに高齢者参加
- ・向こう10年は人口増。地区によってはまだら模様。子育て世代の多い地区、高齢者比率の多い地区が混在

- ・菅エリア内における人口分布の差や地形による災害リスクの違い

地形・災害

- ・傾斜地が多く土砂災害が心配
- ・ゲリラ豪雨が増えている中、土砂災害エリアと水害エリアがある。
- ・自然災害への備えの大切さ
北側：水害リスク 南側：土砂災害リスク

グループワーク② 菅地区の課題を整理しよう

凡例 ●ご意見のポイント ・ご意見 (◎、○) シール投票数 ▷投票理由 ■行きたいところ

●コロナ禍で育児の負担が増え、子育て世代の孤立化が進んでいる (◎1)

- ・コロナ禍での育児負担増
⇒育児の孤立化への対応への苦慮
⇒保護者は「話したい」「友達つくりたい」
⇒対面を求めている。

●コロナによる、地域や多世代の対面の交流が減少している (◎2)

- ・多世代交流等、地域の方との交流を図りたいが、コロナ禍・・・
- ・地域への貢献としてカフェを開業していたが、いつ再開できるかわからない。
社会福祉法人としての使命として、地域貢献という思いもある。
⇒カフェ再開に向けたジレンマ。やれることから少しずつ再開を。
- ・コロナにより外出制限・面会制限。元気の源は刺激！
- ・コロナ禍を逆手にした黙食体験を通じた再発見
⇒コロナだからできないと考えるのではなく、コロナだからできることを考えることが大事である。

▷いろいろな方とのかかわりを大切にしたい。

▷頑張っている子育て世代を支えたい

▷子育て世代への支援・応援を

■公園体操

■菅の里地域包括支援センター中庭活用プロジェクト

■川崎市農業技術支援センター

●高齢者施設の職員の離職が増して、人材の確保が難しい

- ・職員（高齢者施設）が定着しない。
- ・確保が大変。人材難
⇒外国人の活用
⇒障がい者施設との連携はどうか？

- ・災害時、有事にも施設は継続していかなければならない。停電時も心配。

●災害時に避難場所に避難できるかが不安（○3）

- ・大雨時の菅小への避難が不安
- ・災害・震災時の対応
- ・菅保育園の第1次避難場所は、菅小学校と指定されている。大雨の中、90名の園児を避難させられるか不安である。毎月、避難訓練は実施しているが。
⇒他施設や団体との合同避難訓練をしてみたい。

●地域への関心が高いが、実践につながらない

- ・地域活動に関心を持つ方は多いが、行動につながらない場面が多い印象。
関心が高いのか？それとも低いのか？

●高齢者が参加するきっかけとして子どもと楽しめるイベントを企画したい

- ・高齢者プログラムに参加するきっかけづくり
- ・「高齢者」と「こども」
高齢者：子どもの遊びの中へ参加してみる
子ども：大人が求める子どもにさせない
- ・子ども本来のらしさを引き出せるように

●小さな子どもが家族と過ごせる空間などで、子育て支援がしたい

- ・乳幼児・小学生と一緒にファミリーで過ごせるスペースづくり
- ・年齢による遊びエリアへの対応
- ・子育て支援事業の参加者を増やしたい。アピールする方法？
⇒遊び方や食事の相談への対応。
⇒オンラインの活用も

■行ってみたいところ（その他）

■菅町会の活動

日本一の自治会。機関誌づくり。どんな組織？活動は？

■はぐるま共同作業所

作業風景やカフェの様子など

■日本女子大学

2 グループ

[9/7 開催]

メンバー：福園さん（菅保育園）、長島さん（ヒューマンライフケア菅仙谷の宿）、大坂さん（地域包括支援センター菅の里）、門脇（ファシリテーター）、寺澤・八束（記録役）



グループワーク① 地域データについて気付きや感想の共有

人口

- ・人口増加が+6%ということ
- ・外国に関わる方2.2%。中原区と同じだった。
- ・菅6丁目の高齢者割合が高い
⇒菅芝間住宅の高齢化

地形・災害

- ・住んでいる地域に階段が多く、高齢者が生活するのが難しくなっている。
⇒坂が多い。出かけづらい。

その他

- ・技能実習生とのコミュニケーション難

グループワーク② 菅地区の課題を整理しよう

凡例 ●ご意見のポイント ・ご意見 (◎、○) シール投票数 ▷投票理由 ■行きたいところ

●コロナで交流や連携がとれない（再開が難しい）

- ・コロナ以降、活動が休止
- ・地域の方との連携が上手く取れていない。コロナの影響が大きい。
- ・コロナ前は、菅保育園の年長児と特別養護老人ホーム菅の里との交流を実施していた。
- ・卒園児とのお祭りの中止、絵本の読み聞かせも中止。

■菅保育園（子どものパワーに触れたい）

⇒13：30～15：00 から園庭であれば対応可能。人数も少人数であれば。

■特別養護老人ホーム菅の里

⇒園児と高齢者の交流を再開するには、改めて、担当者がまず顔や開催場所を確認することが必要。

●公園で高齢者と子どもの世代間のつながりづくりをしたい（◎1、○1）

- ・『園児』×『公園体操』

▷高齢者は子どもからパワーをもらおう！！

■公園体操（交流可能が見てみたい）

●認知症のある高齢者などは、とくに地域でのつながりが薄く孤立。災害時どうしたらいいかとても不安（◎2）

- ・認知症の方が安心して生活できていない。特に災害時どうすればいい？
⇒菅町会は大きすぎてつながり持ちにくい。
- ・避難すると時（特に川の氾濫時）、無事に菅小学校へ避難できるか心配がある。
⇒避難所が遠すぎる

●保育園と地域の方との資源・つながりで食育ができそう！！食育でつながり（○3）

- ・菅保育園の庭の北側に畑があるので作物の育ちが悪い。食育活動において、成果が見えにくい。
- ・区役所を經由して、のらぼう菜の提供の打診があった際、その農家さんに上記の相談をしたところ、農家さんの庭にてのらぼう菜の収穫をさせてもらえることになった。その後、芋ほりの提案を受け、今後、実施する予定である。
- ・『園児』×『農家』

■農家

●子育て支援事業に人が集まらない。菅地区だけなぜ？（他地区は集まるのに）（○1）

- ・月1回、菅こ文で子育て支援事業を行っているが、周知されていないため、参加者が少ない。
⇒広報？場所？ どこか問題なのか。

・菅保育園の存在が地域の方々に知られていない（開園 54 年なのに・・・）

■行ってみたいところ（その他）

■はぐるま共同作業所（障害者の理解）

■三沢川等周辺の川沿いの浸水区域を歩いてみたい

■川崎市農業技術支援センター（食育）

■ヒューマンライフケア菅仙谷前のパンの移動販売

隔週火曜日 16 時頃

■生田浄水場付近の道がとても狭い、かつ、車がとても飛ばしている。